

一般会計決算額

歳入 54億2,551万円

●歳入		(単位:万円)		
内 訳	元年度	30年度	対前年比	
町 税	14億8,381	14億9,772	▲0.9%	
使用料および手数料	1億2,913	1億4,036	▲8.0%	
繰入金	1億8,946	6,354	198.2%	
繰越金	2億3,057	2億4,472	▲5.8%	
諸収入	1億7,479	2億 711	▲15.6%	
分担金・負担金・財産収入・寄付金	7,071	4,554	55.3%	
計	22億7,847	21億9,899	3.6%	
地方交付税	17億4,561	16億4,061	6.4%	
国庫支出金	4億6,783	3億6,830	27.0%	
県支出金	3億3,366	3億2,568	2.5%	
町 債	1億9,160	2億4,520	▲21.9%	
譲与税、交付金など	4億 834	3億9,689	2.9%	
計	31億4,704	29億7,668	5.7%	
合 計	54億2,551	51億7,567	4.8%	



新設された町道管溝2号線

歳出 51億7,193万円

●歳出		(単位:万円)		
内 訳	元年度	30年度	対前年比	
議会費	7,381	7,637	▲3.4%	
総務費	7億5,881	9億6,931	▲21.7%	
民生費	12億9,596	12億4,050	4.5%	
衛生費	4億 479	3億8,511	5.1%	
労働費	2	2	0.0%	
農林水産業費	4億8,870	3億6,796	32.8%	
商工費	1億1,135	1億2,924	▲13.8%	
土木費	6億3,760	4億9,542	28.7%	
消防費	2億8,372	2億8,548	▲0.6%	
教育費	6億6,990	6億3,768	5.1%	
災害復旧費	4,054	—	—	
公債費	4億 673	3億5,801	13.6%	
合 計	51億7,193	49億4,510	4.6%	

健全な財政運営を目指して

一般会計の歳入総額は54億2,551万4千円、歳出総額は51億7,192万7千円となり、前年度と比較すると歳入で2億4,984万1千円の増額(4.8%)、歳出では2億2,682万9千円の増額(4.6%)となりました。

前年度と比較して増額となった要因は、歳入では、(仮称)甘楽PAスマートIC整備の増加などにより国庫支出金(補助金)が9,953万6千円増額となったこと、歳出では、(仮称)甘楽PAスマートIC整備や織田公園整備により土木費が1億4,217万8千円の増額となったためです。

貯金にあたる財政調整基金をはじめ基金残高は前年度より減少しましたが、借入れに伴う町債の発行額が返済金にあたる公債費を下回り、町債の残高は減少していることから、1年間の財政状況は健全であったといえます。

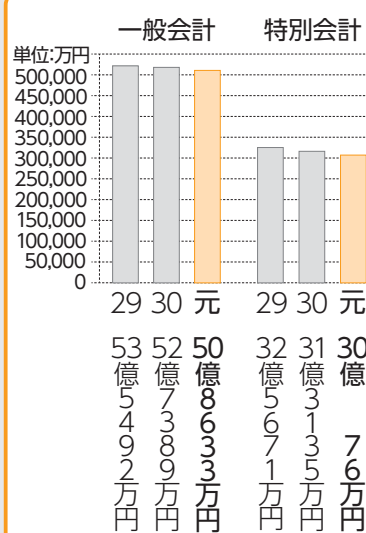
町の家計簿

キラッと輝くまちづくり

令和元年度の一般会計と特別会計の決算が、町議会9月定例会で認定されましたので概要をお知らせします。 ■企画課財政係 内線243

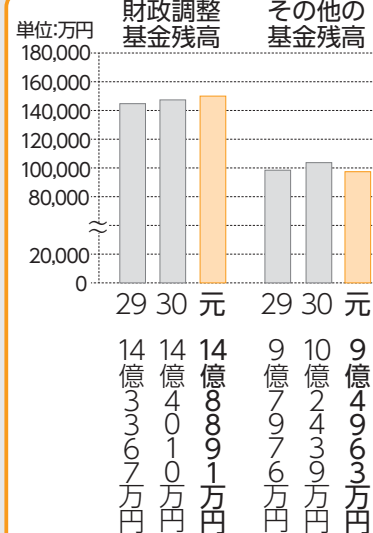


元年度に完了した織田氏七代の墓御霊屋修景施設整備工事



返済に努めているか
借金(町債)の残高

一般会計では、元年度に消防団詰所建築工事、台風19号災害などで町債の借入れを行い1億9,160万円の借金をしましたが、元金分の返済額が3億7,916万円でしたので、残高は前年度末に比べて1億8,756万円の減少となりました。特別会計では、農業集落排水、公共下水道合わせて1億1,540万円の借金をしましたが、元金分の返済額を下回りましたので、残高は減少しました。今後も後年度の負担を考慮した借入れ、返済に努めます。

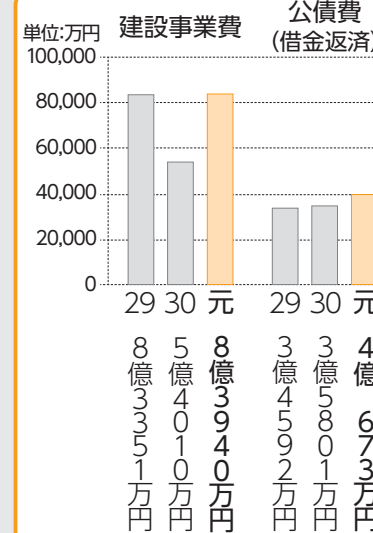


もしもの時の蓄えは
大丈夫か
貯金(基金)の残高

元年度に基金に積み立てた金額は1億2,352万円です。これは、節約してできたお金や寄付金などを貯金したものです。そのうち、一般家庭の貯金にあたる財政調整基金は、4,881万円増加して14億8,891万円となりました。その他の基金残高は9億4,963万円で、基金全体では前年比1.1%減の24億3,854万円となっています。基金残高の減少は、甘楽ふるさと館浴場改修工事のため基金の取り崩しを行ったことが要因です。

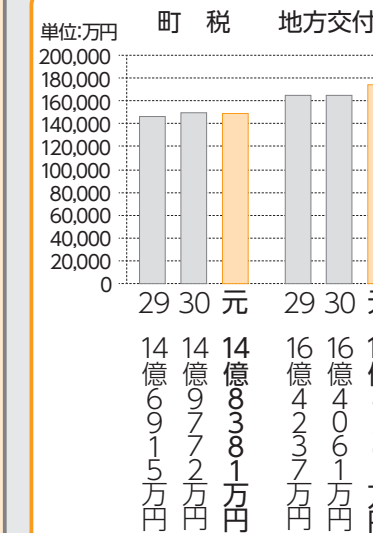
町の財布の中身を4つの視点からチェック

(棒グラフは平成29年度から令和元年度の推移)



ムダなく使われたか
歳出の状況

建設事業費は、甘楽ふるさと館浴場改修工事や(仮称)甘楽PAスマートIC整備、織田公園整備により55.4%の増加となりました。建設事業などに借金をした返済については、甘楽中学校建設に伴う返済がすべて開始されたことにより、13.6%の増加となりました。



財源は安定しているか
歳入の状況

平成30年度は、徴収強化を図ったことにより滞納繰越分が増収しましたが、令和元年度は平時に戻ったため68.2%減少し、町税全体では0.9%の減少となりました。地方交付税は、甘楽中学校建設に伴う町債の元金償還金の増加や台風19号災害の復旧事業分が加算されたため、6.4%の増加となりました。



町制60周年記念事業 決算額 2,301万円

将来に夢と希望が繋がる記念事業を実施し、多くの町民が主体的に参加しました。

事業名	決算額(万円)	実施内容	参加人数(人)
少年野球教室(イベント)	30年度 286	プロ野球選手を招き、小中学生を対象にした野球教室を開催した	373
第11回甘楽町民の日記念事業	30年度 165	かんらちゃんのお誕生日会、中山秀征さんの講演会を実施した	400
町発足60周年記念式典	366	多くの来賓を招き式典を開催。有功者・総合表彰者・60周年記念特別表彰者を表彰した	449
記念映像募集		町のPR映像をYouTubeにアップしてもらい、町ホームページで公開した	2点
カウントダウン記念写真事業	5	記念式典60日前から町民がカウントダウンする写真を町ホームページで公開した	60口(団体)
甘楽で自分だけのお酒造り	28	田植え、お猪口づくり、酒蔵見学などを実施し、地酒の普及と町民の交流を図った	48
田んぼアート事業	★95	子ども参加の米作り体験事業として60周年を記念する田んぼアートを作成した	88
未来に残す花街道記念植樹	36	甘楽ふれあいの丘と5つの行政区にジンダイアケボノを植樹し、未来へ希望を託した	141
小学生バルーンリリース(風船飛ばし)	15	小学校3校の児童が運動会でメッセージカードを付けた風船を飛ばした	596

決算額は平成30年度事業を含んでいます
★は平成30年度・令和元年度合計額です



福島跨線橋西の田んぼに「かんらちゃん」が登場し、60周年を祝いました



子どもたちの夢が書かれたカードを持った人からは、温かいメッセージが寄せられました

夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会



35年ぶりの開催に早朝から多くの町民が参加しました



民俗芸能保存団体の皆さんが獅子舞や神楽を披露し、60周年と群馬プレDCを盛り上げました

中学生が自ら創る60周年記念事業	66	①子どもが作る「弁当の日」講演会を開催した ②祖父母や地域の人などを招待し、合唱大会を開催した	①360 ②480
古代体験「埴輪づくり・勾玉づくり教室」	6	歴史を考える機会として、夏休み期間に埴輪づくり・勾玉づくり教室を開催した	101
人間国宝須田賢司展覧会	90	名誉町民・重要無形文化財保持者(人間国宝)の須田賢司さんの工芸品展を開催し、作品にける須田さんの世界観、技法や表現を学ぶ機会となった	1,000
地域の祭礼助成	★139	地域の祭りをを行う民俗芸能団体などへ助成を行った	21団体
2019年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会	51	甘楽ふれあいの丘でラジオ体操を行い、NHKラジオ第1放送で全国に生放送された	1,806
プレDC(観光)			
①夜間特別開園「楽山園ライトアップ」	①126	①園内をライトアップで演出し、夜間の楽山園を楽しむイベントを開催した	①572
②名勝楽山園歓迎民俗芸能演奏	②32	②町内の民俗芸能保存団体6団体が楽山園内で演奏を披露した	②755
文化会館自主事業	①460 ②291	①三山ひろしコンサートを実施した(2回公演) ②子ども参加ミュージカル「瓶ヶ森の河童」を公演し、出演した51人の児童が練習の成果を披露した	①1,013 ②581
子ども向け映画上映会	44	子どもが楽しめる映画の無料上映会を実施した(映画「ドラえもん」2回)	645

特別会計決算額

(単位:万円)

事業名	歳入総額			歳出総額		
	元年度	30年度	対前年比	元年度	30年度	対前年比
国民健康保険	15億9,147	15億9,392	▲0.2%	14億9,854	15億 641	▲0.5%
介護保険	12億4,947	11億5,292	8.4%	12億3,854	11億3,382	9.2%
農業集落排水	1億4,118	1億6,894	▲16.4%	1億4,062	1億6,843	▲16.5%
公共下水道	5億 657	4億8,820	3.8%	5億 591	4億8,769	3.7%
後期高齢者医療	1億4,365	1億4,008	2.5%	1億4,150	1億3,998	1.1%

水道事業会計決算額

(単位:万円)

年度	収益的収支(税抜)		資本的収支(税込)	
	収入	支出	収入	支出
30年度	2億4,746	2億2,315	247	1億2,258
元年度	2億4,411	2億2,449	178	1億5,902

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。



芳の元導水管災害復旧応急仮工事(秋畑)

より詳しい内容を公開しています

役場と甘楽町図書館(ら・ら・かんら)に決算書を備えてあります。業務時間内に誰でも閲覧することができます。また、町ホームページでもご覧いただけます。



監査委員の視点

『令和元年度 甘楽町決算審査に思う』

代表監査委員 山田利和

令和元年度、甘楽町では第5次総合計画「KANRAプラン・輝き」に基づき(仮称)甘楽P.AスマートIC整備事業、織田公園整備事業など将来の活性化につながる事業や町発足60周年記念事業、各災害復旧事業が行われました。

さて、本年度の決算審査は8月に3日間実施し、一般会計並びに各特別会計は適正な事業運営がなされ、健全財政に努力されたことが認められました。

近年では毎年日本列島各地で地震、台風、豪雨と自然災害が多発しています。台風19号では甘楽町も多くの被害を受けました。町内全域に避難勧告が発動され、避難者は町内7カ所で1,029人に上りました。避難所や自宅で恐怖や不安の一夜を明かした方も多かったでしょう。

そんな中、甘楽中防災交流センターの炊き出しでは、学生たちが協力して握ってくれたおにぎりがとても

好評だったようです。やはりいざというときには若い人たちの力が必要であり、そんな若者が多い甘楽町であることを期待します。

台風19号の災害復旧費に4,054万円余の支出がありました。復旧時には地域や町職員の多くの皆さんによる懸命な努力や、災害見舞金・災害寄付金により寄付金は30・4%の増加となりました。

今年も台風の時期になりましたが、新型コロナウイルスの感染症もあるため、一層日常生活の中で災害に備えた高い意識を持って行動し、想定外ということがないように一人ひとりが準備して安心・安全な町づくりに協力していきましょう。



決算書類の審査 山田利和代表監査委員(右) 山崎澄子監査委員(中央)